



山梨大学 女性研究者支援室

活動周知強化週間 “Coの花週間” 開催します！

平成24年10月の開室から1年。
女性研究者支援、女子学生への裾野拡大、
ワークライフバランスの充実した環境整備。
こうした活動をもっと広く知ってもらうため、
この度、活動周知強化週間を実施します！



支援室マスコット
Coの花姫
(このはなひめ)

＊ 実施期間 ＊
H26年1月20日（月） - 1月31日（金）

【オープニング講演会】

“遠距離介護”という言葉を生んだ介護ジャーナリストがアドバイス！

「遠距離介護のアドバイス」

～親が元気なうちに考えたい、仕事と介護の両立“戦略”～

H26/1/20 16:30～18:00 総合研究棟Y-15号室



【期間中、Y-302号室を開放！】

山梨大学で学ぶ・働く皆さんと

今のこと・将来のことを考える機会をシェアします♪

お気軽にご来室ください。

【クロージング講演会】

3つの講演とパネルディスカッションで、梨大の未来を考える！

「男女共同参画推進本部連携事業

女性研究者支援室開室一周年記念講演会」

<講演>

藤江 陽子 氏(文部科学省 生涯学習政策局 男女共同参画学習課長)

中野 美恵子 氏(静岡大学副学長・男女共同参画推進室長)

松川 憲行 氏(山梨大学理事(総務・労務・情報管理担当)・男女共同参画推進本部委員)

<パネルディスカッション>

パネラー：上記講師陣および杉山 俊幸 氏(山梨大学工学部長)

コーディネーター：風間 ふたば 氏(山梨大学女性研究者支援室長)

H26/1/31 15:30～18:00 L号館C棟27教室



前田 秀一郎 学長からのメッセージ



本学では、科学技術振興機構の「女性研究者研究活動支援事業」の採択を受け、中期目標に掲げた、「女性教職員の働きやすい条件の整備に努める」ため、「女性研究者支援室」を中心に、出産、子育てや介護等に直面している女性研究者の研究を支援するための種々の活動を展開しています。この機会に是非これら活動を理解して戴き、ご支援戴きますようお願いいたします。

こんなことをやります！

オープニング講演会

第2回ワーク・ライフ・バランス講演会

「遠距離介護のアドバイス」 ～親が元気なうちに考えたい、 仕事と介護の両立“戦略”～

講師：太田差恵子氏（NPO法人パオッコ理事長）

日時：平成26年1月20日（月） 16:30～18:00

場所：総合研究棟 Y-15号室



ワークライフバランス（WLB）は
あなたが幸せに生活するために大切なこと。

今回のテーマは「介護」。
誰もが抱える漠然とした不安…。
他県からの就任が多い大学研究者の皆さん、
まだ親は元気世代の職員・学生の皆さん、
みんなで一緒に学んでしましましょう！



開放！支援室 Y-302号室



毎日12:00～16:30 OPEN！

①活動周知のポスター展示

支援室の主な業務をポスターでご紹介します。

②“Coの花文庫”紹介・読書コーナー

各分野の本、取り揃えています！

ジェンダー・男女共同参画、男性＆女性＆夫婦の育児、仕事＆
家事の効率化、メンタルケアやコミュニケーション、大学生の
将来を考える、介護＆仕事の両立・・・

その場で読むのはもちろん、貸出も可能です。

③WLBを考えるプチ・ワークショップ

思考・発想ツールを使って、WLBを気軽に楽しく考えよう！

④交流カフェ

・研究者×学生で座談会！

お互い授業中には聞けない話を聞けるかも？

・ランチ会開催！

たまにはいろいろな人と集まってランチしてみましょ！

・フリー★ディスカッション開催！

話題提供のテーマについて、あれこれ楽しくディスカッション♪

⑤WLBを考えるDVDの紹介＆ミニ上映会

気軽に、でもちょっと「ほほお～」と思える映画などを
ご紹介するパンフレットをご用意！

また、これまで開催したWLBに関する講演会を上映します。
聴講し損ねた方、必見です♪

クロージング講演会

男女共同参画推進本部共催（連携事業）

女性研究者支援室開室一周年記念講演会

講演①「山梨大学の男女共同参画における現状と課題
～女性研究者支援室の活動を中心に～」

講師：松川 憲行 氏

（山梨大学理事（総務・労務・情報管理担当）・男女共同参画推進本部委員）

講演②「（仮）男女共同参画社会の推進について」

講師：藤江 陽子 氏

（文部科学省 生涯学習政策局 男女共同参画学習課長）

講演③「（仮）静岡大学の男女共同参画における事例紹介」

講師：中野 美恵子 氏（静岡大学副学長・男女共同参画推進室長）

パネルディスカッション「効果的なポジティブアクションの在り方」

パネラー：藤江陽子氏、中野美恵子氏、松川憲行氏

杉山俊幸氏（山梨大学工学部長）

コーディネーター：風間ふたば（山梨大学女性研究者支援室長）

日時：平成26年1月31日（金）15:30～18:00

場所：L号館C棟 LC-27教室

女性研究者がこれまで以上に活躍できる環境を
整備するうえで今できること、
そして今後取り組むべきことは何か――

女性研究者支援に取り組む、国や大学等の関係者から
それぞれの立場における取組内容や考えをうかがい、
今後の山梨大学が進める女性研究者支援、そして
男女共同参画について皆様と一緒に考えて行きます。



Coの花週間

※WLB=ワーク・ライフ・バランスの略

会場MAP



クローシング講演会
はココの2階！

オープニング講演会
はココの1階！

支援室開放
はココの3階！

Coの花週間 スケジュール

どの時間帯も、途中での入・退室OK！

1月	12:00～13:10	13:10～16:30	16:30～18:00
20 月	④女性限定！ 女子会ランチ	(講演会準備のためClose)	遠距離介護 講演会
21 火		③WLBを考える プチワークショップ 思考・発想ツールを使って楽しくTRY!	
22 水	(支援室打合せのためClose)	④研究者×学生 座談会	④フリー★ディスカッション By 交渉中
23 木	④臨時！パパママランチ会 ※通常は「5」のつく日です。	*常設コーナー* ①活動紹介ポスター展示 ②Coの花文庫 *特設コーナー* ⑤WLBにちなんだ映画上映	話題提供の先生と あれこれディスカッション というこのコーナー☆ どんな先生が来て下さる かしら??
24 金			
27 月			④フリー★ディスカッション By 時友 裕紀子 先生 おいしく食べることは心を豊かにする！ 食物について語ろう!
28 火	④誰でもOK! フリーテーマランチ会	*常設コーナー* ①活動紹介ポスター展示 ②Coの花文庫 *特設コーナー* ⑤WLBにちなんだ映画上映	時友先生は食物の香りや、 地域の伝統的な食文化・料理 について研究！ 食べることにについて、 いろいろ聞けちゃう チャンス!
29 水			
30 木	④女性限定！ 女子会ランチ	③WLBを考える プチワークショップ 思考・発想ツールを使って楽しくTRY!	
31 金		(講演会準備のためClose)	一周年記念講演会

図書一覧や映画DVD一覧は別紙（作成中）を見てね！
きっと楽しいものが見つかるわ♪



連携部署からメッセージ

女性研究者支援室は、学内の様々な部署や組織と協力して活動を行なっています。
ここでは、皆様からいただいたメッセージをご紹介します。

【男女共同参画推進本部委員 松川憲行 理事(総務・労務・情報管理担当)】

本学の女性研究者研究活動支援事業は、文部科学省の国立大学法人評価委員会による平成24年度の評価の中で「注目される主な取組事例」の一つとされるなど、全国的にも注目されていると思います。女性研究者支援室による、元気な「咲くやCoの花プロジェクト」は、本学における男女共同参画の実現につながるものです。多くの方々にその活動を知ってもらい、参加してほしいと考えており、「Coの花週間」に期待しています。

【教育人間科学部】

中村 享史 学部長

教育人間科学部では、女性研究者支援室の開室を機に、教員公募において「業績や能力に関わる評価が同等と認められる場合には、女性を優先して採用します」という文言を公募要項に明記しています。

男女共同参画推進に鑑み、今後も継続していく予定です。

【工学部】

杉山俊幸 学部長

工学部では平成25年度より、教員公募において「選考における評価が同等の場合は、女性・外国人を積極的に採用」としています。残念ながら工学分野は特に女性教員の絶対数が少ないため、現時点では女性採用には至っていませんが、事業目標達成のためにも今後より尽力していきます。

【生命環境学部】

早川正幸 学部長

生命環境学部はまだ設置3年目という新しい学部ですが、農学分野に近いため、学生・教員の女性割合は比較的多めです。多くの女子学生たちが大学院進学、そして女性研究者を目指すような環境作りを進めたいと思います。

【留学生センター・キャリアセンター】

川村隆明 センター長

女性研究者支援室1周年おめでとうございます。
研究者にとって、個人の特性や能力をどれだけ生かせるかが大切で、そのためには男女、年齢、人種などは関係なく、むしろ多様な人々がいる環境をつくるのが世界的に大きな課題となっています。この意味からも女性研究者の育成は極めて重要です。本学の女性研究者やその卵である学生・院生がそれぞれの特性と能力を生かして、日本国内のみならず国際的にも活躍されることを期待しています。



皆様、
ありがとうございます